

設立 30 周年 世界の医療団オンラインセミナー

8/25 「ロヒンギャ難民の今、そして未来」開催

先細る支援、遠くへ帰還……世界最大の難民キャンプの現状とその背景、展望は—
ロヒンギャ難民問題に造詣の深い大橋正明さん（放送大学客員教授）をゲストにお呼びし、
お話いただきます。難民に対して非寛容な風潮があるなか、ロヒンギャの人々への理解を深
め、日本にいる私たちがどう考え、行動すべきなのかを考えます。



世界の医療団 オンラインセミナー

設立30周年
MEDECINS DU MONDE
世界の医療団

「ロヒンギャ難民の今、そして未来」

先細る支援、遠くへ帰還……
世界最大の難民キャンプの現状とその背景、展望は—

ゲストスピーカー
大橋正明さん
放送大学客員教授
大橋正明さん

8/25 (月) 19:00~20:15 開催
参加費無料・要事前申し込み

2017年8月25日、ミャンマー軍による迫害により、多くのロヒンギャの人々が隣国バングラデシュに逃れました。それから8年。難民キャンプでは100万人近い人々が暮らしており、現在も紛争から逃れた人々の流入が続いています。一方でアメリカやヨーロッパなど国際社会の援助停止や縮小により、人々は生きるうえで欠かせない食料配給や教育停止の危機に直面しています。

今回のオンラインセミナーでは、長年にわたってバングラデシュに駐在され、ロヒンギャ難民について造詣の深い大橋正明さんをお呼びし、ロヒンギャの人々の現状と、ロヒンギャ難民問題の背景、そしてロヒンギャを取り巻く国際社会の動向についてわかりやすく解説していただきます。また、世界の医療団が難民キャンプと周辺地域で実施してきた医療支援を通じ、ロヒンギャの人々の声や必要とされる支援の在り方について伝えます。

世界では紛争・自然災害などで年々難民とならざるを得ない人々が増加しています。日本も無縁ではありません。私たちはロヒンギャ難民問題をどうとらえ、何をすべきなのか、参加者のみなさまと考えます。

イベント概要

- 日時 2025年8月25日(月) 19:00~20:15 予定
- 形式/場所 オンライン (Zoomによるウェビナー)

- 参加費 無料 (当日の録画と発表資料 PDF は希望者に 500 円で配布)
- 申し込み <https://forms.gle/RjkCG2KPjDLZvYNg6>
- 主催 世界の医療団

- プログラム

あいさつ (事務局長 米良 彰子)

第一部 講演 「ロヒンギャの人々のこれまで、そしてこれから」

放送大学客員教授 大橋 正明さん

第二部 報告「難民キャンプで必要とされる医療支援・人々の声」

海外事業プロジェクト・コーディネーター 中嶋 秀昭

Q&A

おわりに

- 大橋 正明 (おおはし まさあき) さんプロフィール



シャプラニール=市民による海外協力の会の Bangladesh 駐在員と事務局長、国際赤十字・赤新月社連盟 (IFRC) 兼日本赤十字社の Bangladesh 駐在員、恵泉女学園大学教授 (現在は名誉教授)、聖心女子大学教授 (現在は同大学グローバル共生研究所招聘研究員) を経て、現在は放送大学客員教授、SDGs 市民社会ネットワーク共同代表理事、PARC (アジア太平洋資料センター) 共同代表、シャプラニールのシニア・アドバイザー、国際協力 NGO センター (JANIC) 顧問、アユス仏教国際協力ネットワーク理事他。

主著は「NPO・NGO の世界」(共著、放送大学、25 年)、「ロヒンギャ問題とは何か：難民になれない難民」(共著、明石書店、19 年)、「Bangladesh を知るための 66 章」(共編著、明石書店、17 年) など。

世界の医療団は、世界に 17 のネットワークを持ち 70 ヶ国以上で活動する国際 NGO です。1980 年の団体発足以来、自然災害や紛争地域において、人道危機発生時の緊急支援から、その後の長期的な復興支援まで、現地のニーズに即した活動を続けてきました。

■お問い合わせ先■

世界の医療団 特定非営利活動法人メドウサン・デュ・モンド・ジャポン (認定 NPO 法人)

東京都港区東麻布 2-6-10 麻布善波ビル 2F <https://www.mdm.or.jp/>

Email: communications@mdm.or.jp

TEL: 03-3585-6436 (リモートワークをしている場合がありますので、メールをご利用ください)

広報担当 糟谷 (かすたに)